

平成 27 年度環境活動レポート

(対象期間:平成 27 年 2 月～平成 28 年 1 月)



平成 28 年 2 月 29 日発行

寿化工株式会社

目次

目次	1
1. 事業所の概要	2
2. 対象範囲（認証・登録の範囲）	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境目標の実績	6
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体評価と見直し結果	9

1. 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

寿化工株式会社 代表取締役社長 野田隆信

(2) 所在地

本社工場 〒346-0111 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎724番1

電話 0480(85)1045、FAX 0480(85)2204

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 取締役工場長 伊藤重夫

担当者 技術部 高畑忠雄

連絡先 電話 0480(85)1045、FAX 0480(85)2204

(4) 事業の規模

(年度:2月～1月)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高(百万円)	382	385	385	360
従業員数(人)	21.5	23	22.5	23.5
事業所延べ床面積(本社・工場㎡)	1134.5	1134.5	1134.5	1134.5

(5) 法人設立年月日

昭和31年年6月10日

(6) 資本金

3,000万円

2. 対象範囲(認証・登録の範囲)

【事業内容】

塗料、接着剤の開発、製造、販売
並びに受託製造



無溶剤塗料
「タフネス」

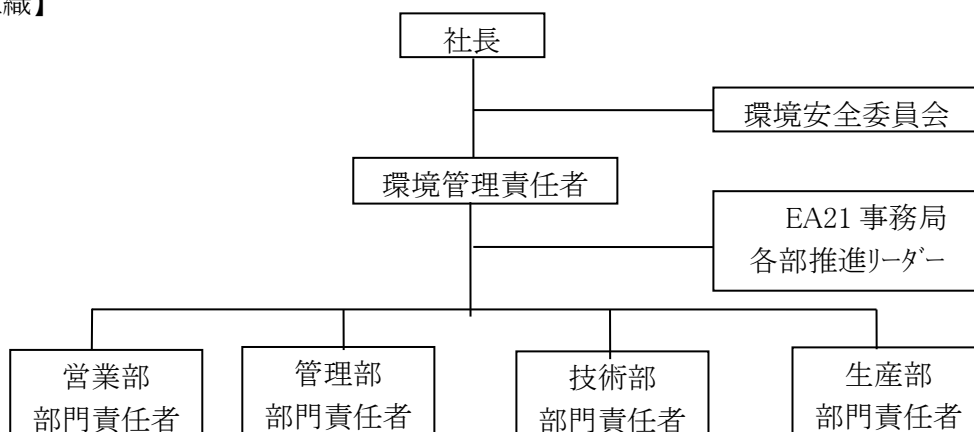


油性新漆
「ニッコート」



木質含浸強化剤
「木固めエース」「キガタメル」

【事業組織】



3. 環境方針

環境方針

〈基本理念〉

1. 経営活動の理念として次の経営方針を定める。

「PROGRESS(必要不可欠)」 「PRIMITIVE(初心)」

“PROGRESS”の理念は、必要不可欠な製品を社会に提供する会社の不変的姿を示す。

“PRIMITIVE”の理念は、初心とし、人と人との対話を重視し、目的に向かって行動する。

2. 環境マネジメントシステムの構築及び実施、並びにその有効性を継続的に改善し、環境汚染を予防するために経営方針に基づいて“環境方針”に示し、外部から環境方針又は環境情報の要望があった場合には“環境方針”を配布する。
3. “環境方針”の改定の必要性を認めた時、経営会議で説明の上、改定する。
4. 統括管理者は、“環境方針”を掲示し、活動の基本として従業員並びに協力業者に周知徹底する。
5. 社長は、統括管理者に指示して“環境方針”を実施させ、環境マネジメントシステムを有効に活用して製法、設備、資源等の合理化を図る。

〈環境方針〉

「人と環境にやさしい活動による環境負荷の低減」を環境方針とし、以下行動指針を定める。

1. 製品開発の段階から原料、製法及び使用済み処理について環境影響を想定し、負荷を小さくすることに努める。
2. 法規制並びにその他の要求事項を順守し、環境負荷低減のための重要な環境側面に関する削減策、運用方法、緊急時の対応策を定める。
3. 事業活動・規模の諸条件に反映した削減・改善策を実施し、運用管理して逸脱を防ぎ、環境負荷の低減に努める。
4. 環境パフォーマンス向上のため、環境目標の設定・活動評価とマネジメントレビューを実行し、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。
5. 環境管理活動の重要性を徹底し、環境保全に関する意識を向上するために従業員及び協力業者にこの方針を配布し、教育指導する。

平成25年 9月20日

寿化工株式会社

代表取締役社長

4. 環境目標

【環境負荷/中期環境目標】

項目			年度				
			平成 24 年 (基準年度) (実績)	平成 27 年 (目標)	平成 28 年 (目標)	平成 29 年 (目標)	平成 30 年 (目標)
二酸化炭素 排出量削減 (対基準年： 1乃至2%/年削減)	二酸化炭素 排出量	(t-CO ₂ /年) (対基準%)	59.6 100	56.6 95	56.0 94	56.0 93	55.1 92.5
	電力使用量	購入電力量 (kWh/年)	89,433	84,961	84,067	83,173	82,726
	ガソリン 使用量	ガソリン購入量 (ℓ/年)	2,464	2,390	2,353	2,341	2,329
	灯油使用量	灯油購入量 (ℓ/年)	2,517	2,442	2,404	2,391	2,379
	LPG使用 量	LPG購入量 (kg/年)	297	288	284	282	281
廃棄物排出量 の削減	事業系一般 廃棄物量	一般廃棄量 (t/年)	5.5	5.34	5.1	4.8	4.6
	産業廃棄物 量	産廃廃棄量 (t/年)	6.0	5.74	5.7	5.6	5.6
水使用量の削減		水使用量 (m ³ /年)	2,842	2,700	2,200	2,000	1,900
化学物質使用量の削減		特定化学物質 (t/年)	102	97	96	95	94
環境配慮型商品の拡販		環境配慮製品 (t/年)	22	26	30	35	40
グリーン購入の推進		購入品数 (件/年)	1	5	30	32	34

(電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力㈱の排出係数 0.000464 t-CO₂/kWh を使用)

5. 環境活動計画

平成 27-30 年度の取組計画

項 目		取組内容
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減	①不在場所、昼休みの消灯 ②エアコン、ストーブの温度・時間管理 ③混合分散・集塵作業の見直し、適正化(調査)
		①混合分散・集塵作業の見直し、適正化[中期計画]
	化石燃料使用量の削減	①空噴き排除、エコドライブ励行 ②排気ガス抑制等適性な車両整備 ③原材料加温時間の適正化(調査)
		①原材料加温時間の適正化[中期計画]
廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物量の削減	①ゴミの分別排出(調査) ②重要書類外のコピー裏紙使用 ③PC 通信網による非文書化(調査)
		①ゴミの分別排出[中期計画] ②PC 通信網による非文書化[]
	産業廃棄物量の削減	①配合・製造手順の明確化・不良品排除 ②適正在庫量管理・長在品回避、少量品種の品番統合(調査)
		①適正在庫量管理・長在品回避[中期計画] ②少量品種の品番統合[]
水使用量の削減		①節水(シール貼付け、節水コマ取付け、ムダな流し放し禁) ②水道使用量をチェックし漏水監視
化学物質使用量の削減		①PRTR、県特定化学物質の管理システム構築と削減 ②設備の適正維持管理
		①環境対応型製品の開発販促[中期計画] ②密閉型生産設備の活用[]
グリーン購入の推進		①エコ対象品目・価格調査 ②グリーン購入比率調査
		①グリーン購入目標値の設定・件数・比率向上[中期計画]
環境配慮型商品の拡販		①環境に優しい製品の選定調査 ②環境対応型製品の設計開発 (PRTR、県特定化学物質非対象製品、含む水系製品)
		①環境に優しい製品の販促[中期計画]
社会貢献活動の推進		①環境団体への支援・協賛、地域ボランティア活動への協力
教育・訓練の実施		①E A 21 のレベルアップ 推進教育、外部セミナーの活用 ②EMS 導入による経営改善 ③防災教育・訓練

6. 環境目標の実績

対象期間:平成 27 年2月～平成 28 年1月:

取組項目		目標値	実績値	※達成率(%)
二酸化炭素 排出量削減	二酸化炭素排出 量	56.6t- CO ₂ [対基準年度比:95%]	43.7t- CO ₂ [対基準年度比:73%]	130
	電力使用量	84,961kWh	72,421kWh	117
	ガソリン使用量	2,390 リットル	1,252 リットル	191
	灯油使用量	2,442 リットル	2,568 リットル	95
	LPG	288Kg	272Kg	106
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物量	5.3t	4.8t	110
	産業廃棄物量	5.7t	17.3t	33
排水量の削減		2,700 m ³	848 m ³	318
化学物質使用量の削減		97t	69t	141
環境対応型製品の拡販		26t	45t	173
グリーン購入の推進		5 件	31 件	620
社会貢献活動の推進		2 件	2 件	100
教育・訓練の実施		3 件	3 件	100

購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力(株)の排出係数0.000464 t-CO₂/kWhを使用



7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対象期間(平成27年2月～平成28年1月)

項目		取組内容	※達成状況	評価	取組の評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	①省エネ活動の推進による電力使用量削減 ②エコドライブ推進等、化石燃料の削減	目標:56.6 t-CO ₂ 実績:43.7 t-CO ₂ 達成率 130%	○	節電、省エネ(化石燃料削減)、エコ意識深化	高比率の電力使用量を主に削減化を図る
	電力使用量	①不在場所・昼休み消灯 ②エアコン類温度管理 ③混合、分散、集塵作業の見直し(調査)	目標: 84,961kWh 実績: 72,421kWh 達成率 117 %	○	節電、省エネの推進 ・消灯活動の実行 ・適正温度管理 ・作業環境見直し調査	①不在場所・昼休み消灯 ②エアコン類温度管理 ③混合、分散、集塵作業見直し
	化石燃料使用量	①エコ車検、保守点検、整備 ②エコドライブ、適切な運行計画 ③ストーブ等加温時間の適正化	[ガソリン] 目標:2,390 ^{リットル} 実績:1,252 ^{リットル} 達成率 191% [灯油] 目標:2,442 ^{リットル} 実績:2,568 ^{リットル} 達成率; 95% [LPG] 目標:288Kg 実績:272Kg 達成率 106%	○	省エネ、コスト意識向上	①エコ車検、保守点検、整備 ②エコドライブ、適切な運行計画 ③加温時間の適正化
廃棄物排出量の削減	事業系一般廃棄物	①両面コピー・裏紙使用 ②分別排出 ③電子媒体で非文書化(調査)	目標:5.3t 実績:4.8t 達成率:110%	○	ムダ、コスト、エコ意識向上 廃棄物を重量管理化	①両面コピー・裏紙使用 ②分別排出 ③電子媒体で非文書化比率アップ
	産業廃棄物	①配合製造手順明確化 ②適正在庫管理(調査) ③品種統合(調査)	目標:5.7t 実績:17.3t 達成率:33%	×	品質、コストの意識化 永年蓄積廃棄物を集中処理。顧客対策の実施	①配合・製造手順 明確化 ②適正在庫管理、処置 ③品種統合(調査)
排水量の削減		①節水ラベルの掲示、教育 ②漏水チェック	目標:2,700 m ³ 実績:848 m ³ 達成率:318%	○	節水活動推進(節水札) 漏水チェック追跡	①節水ラベルの掲示、教育 ②漏水チェック
化学物質使用量の削減		①対象 PRTR、特定化学物質の管理 ②密閉型設備の活用 ③環境対応製品の開発	目標:97t 実績:68.9t 達成率:141%	○	管理システムの構築 (PRTR、県特定物質) 環境対応製品の開発	①PRTR、特定化学物質対象物の管理実行 ②密閉型設備の活用 ③環境対応製品の開発
環境配慮型商品の拡販		①環境配慮製品の選定 ②環境対応製品の開発	目標:26t 実績:44.7t 達成率:173%	○	環境配慮製品の選定、(PRTR、県特定物質非配合) 開発推進	①環境配慮製品の販促 ②環境対応製品の開発 (含む水系製品)
グリーン購入の推進		①事務用品のグリーン購入(調査)	目標:5件 実績:31件 達成率:620%	○	グリーン製品の調査 グリーン購入の意識浸透	①事務用品のグリーン購入推進(件数増)
社会貢献活動の推進		①日本樹木医会協賛 ②福祉施設への協力	目標:2件 実績:2件 達成率:100%	○	日本樹木医会協賛 他	①日本樹木医会協賛 他 ②福祉施設等への協力継続

項目	取組内容	※達成状況	評価	取組の評価	次年度の取組
教育・訓練の実施	「EA21」導入・推進教育 緊急事態対応	目標:3件 実績:3件 達成率:100%	○	EA21 導入化推進継続 緊急事態対応調査(防災 基準作成) 防災監査・教育・訓練実施	「EA21」レベルアップ推進 防災教育・訓練

8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規名	該当する項目	遵守状況
廃棄物処理法(廃掃法)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管基準の遵守(廃棄物置場の表示、衛生管理) ・廃棄物処理契約書、委託先業者の許可証確認 ・産業廃棄物管理票の照合確認(発行・返送・遅延時の届出) ・産業廃棄物管理票交付状況報告 	遵法 〃 〃 〃
PCB 特別措置法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄時保管届(変圧器) 	遵法
フロン排出規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン類含有特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の点検 廃棄時回収 	遵法
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定(有機溶剤) ・有機溶剤作業主任者選定 ・健康診断 	遵法
毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・毒物劇物製造業登録申請 ・毒物劇物一般販売業登録申請 ・取扱責任者設置届 	遵法 〃
PRTR法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象特定化学物質排出量の報告 	遵法
埼玉県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none"> ・特定化学物質取扱量報告書 ・特定化学物質等適正管理手順書作成報告書 ・環境負荷低減主任者選任届出書 ・指定炭化水素類発生施設変更届出書 	遵法 〃 〃 〃
久喜市条例	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水設備計画確認申請書 ・農業集落排水設備工事完了届出書 	遵法 〃
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物取扱施設・設備設置許可 ・危険物保管指定数量以上の許可申請 ・地下貯蔵タンク等の管理及び危険物漏洩時の措置に関する届出 ・危険物保安監督者の届出 	遵法 〃 〃 〃
リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み指定再資源化製品の回収 	遵法

環境関連法規制等の遵守状況は、平成 28 年 2 月に評価の結果、環境法規制等の逸脱は有りませんでした。

また、過去3年間にわたって関係当局からの違反等指摘はなく、また訴訟等も有りません。

9. 代表者による全体評価と見直し結果

(1) 全体の確認・評価

項目	報告内容(要旨)	代表者の評価
1.環境目標の達成状況、環境活動計画の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・期間環境目標、環境活動計画及びその取組結果報告(‘16.2.22 付)顧客対策及び蓄積廃液等を集中処理実施の産業廃棄物項目以外、目標を達成。 ・二酸化炭素排出は主体の電力使用量減にて、対目標-22.8%削減した。 ・特定化学物質使用量は管理システムを構築、-29%削減し目標達成。 ・環境配慮型製品は対目標+72%増の実績。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの目標項目も更に高い目標値の設定が可能である。
2.外部コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民等からの苦情は無い。 ・取引先からの環境調査 2件 	
3.環境法規制等の遵守状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境法規制等の確認結果(評価日’16.2.2.16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員教育に外部セミナー等も積極的に取り入れたい。 ・環境関連ほか、法令遵守継続に努めたし。
4.是正処置及び予防処置の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業廃棄物管理票交付等報告書」の提出実施。 	

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の要否	指示事項等	回答者	回答日	回答内容
1. 環境方針	否	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を通じてシステムの運用を着実に推進し、更に高い目標値の設定が可能である。 	管理責任者	2月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・新中期計画を作成。EMS「エコアクション21」導入目的・意識を深め、環境改善に努める。
2. 環境目標	要				
3. 環境活動計画	否				
4. システム運用	否	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の未然防止(予防処置)に重点を置くこと。法令遵守。 		2月 29日	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連法規等遵守に当り、情報収集のシステム強化と集中化を図る(事務局)
5. その他	否	<ul style="list-style-type: none"> ・外部セミナー等を取り入れ、環境意識のレベルアップ及び人材育成を計画に盛り込むこと。 		2月 29日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、部署内打合せ等、内部コミュニケーションのルーティン化 外部セミナーの活用、積極参加。

樹木腐朽部再生含浸剤

キガタメール

全国の“天然記念樹木(国・県・市指定)、神木、銘木、巨樹”等に多くの実績



- ・淡墨桜(岐阜県巢本市 1550年)
- ・大楠(佐賀県武雄市 3000年)
- ・爺杉(茨城県高萩市 1000年)

【主な実績】

- ・御油の松並木(400年)
- ・飛騨高山“臥龍桜”(1000年)
- ・兼六園“桂の木”

特殊塗料専門メーカー

寿化工株式会社

URL:<http://www.kotobukikakou.co.jp/>
 〒346-0111 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎724-1
 TEL:0480-85-1045 FAX:0480-85-2204

